

Mさんの家 川崎・多摩区

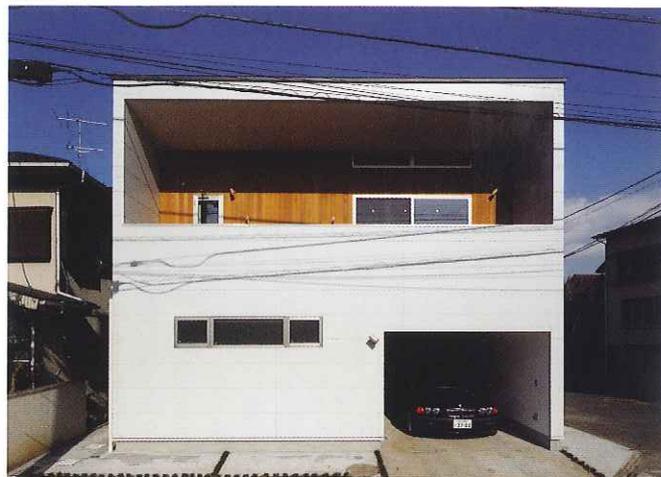
- 本体工事費：2480万円
- 3.3㎡単価：59.8万円
- 床面積：136.89㎡
- 家族構成：夫37歳 妻34歳
長女2歳

住

宅地の中にすつと立つ白い箱。端正に整ったM邸の外観からは、内部の様子

子をうかがうことはできない。「でも、夕方に室内の明かりが灯ると、光が漏れていい雰囲気になるんですよ」と自慢するのは、Mさん夫妻。欲しかったのはモダンスタイルの家。住宅展示場を回り、インターネットで検索し、夫妻で手を尽くすことで、地元の川崎市に本拠を持つ宝建設を見つけた。

「まだ子供が小さいということもあって、効率よく家事がこなせる動線にして欲しかったんです。宝建設さんの施工例には、設計の工夫で解決しようという姿勢が感じられて、そこが決め手になりました(妻)



(右)西側から見た外観。湿式工法の外壁仕上げで白壁にほのかな陰影が生まれた。シャープな箱型のデザインに2階外壁の板張りが柔らかさを加えている(下)角地のため、外部からの視線をシャットアウトする設計に。中庭の開口部と小さく抑えた居室の窓の対比が建物にアクセントを付ける

M邸の担当は佐藤治止さん。設計事務所での勤務経験も長く、幅広い提案力を持つ同社の2代目だ。

佐藤さんが当初に提示した4つの案のうち、生活の中心は日当たりのいい2階、個室と駐車場を1階にまとめるプランが選ばれた。「1階の通風と採光がポイントになりました。建物の中央に中庭を設けることで屋内全体へ明るさを供給しています」(佐藤さん)。

室内は自然素材を用いながらスッキリと。バルコニーに面した2階のLDKには、食事も团らんも家族と一緒に過ごす心地よさがある。「毎日、子供の後を追いかけています。安心して育児できる環境を得られたこと。夫妻はそれが何よりも嬉しい。





シンプル動線で家事も楽々。
ウッドデッキに続く
2階リビングでくつろぐ

(上) 2階のLDKの外にはウッドデッキのバルコニーが続いている。日当たりがよく、絶好の物干し場に。キッチン、リビングそれぞれにバルコニーへの出入り口があり、M邸の家事動線のひとつとしても機能している。「子供にとってもいい遊び場になっています。私の目も届くので安心です」と妻 (下) 対面式のキッチンからは視界が大きく広がる。「テレビも見られるし、食卓の家族とも会話ができるのが嬉しいですね。前向きな気持ちでキッチンに立ってます」(妻)



キッチンの横では妻の家事用、ダイニングテーブルの脇にはパソコン用となるカウンターが造作された。M邸のLDKは、食事や団らんに限定されず、趣味や作業もこなすことができるスペースとなっている



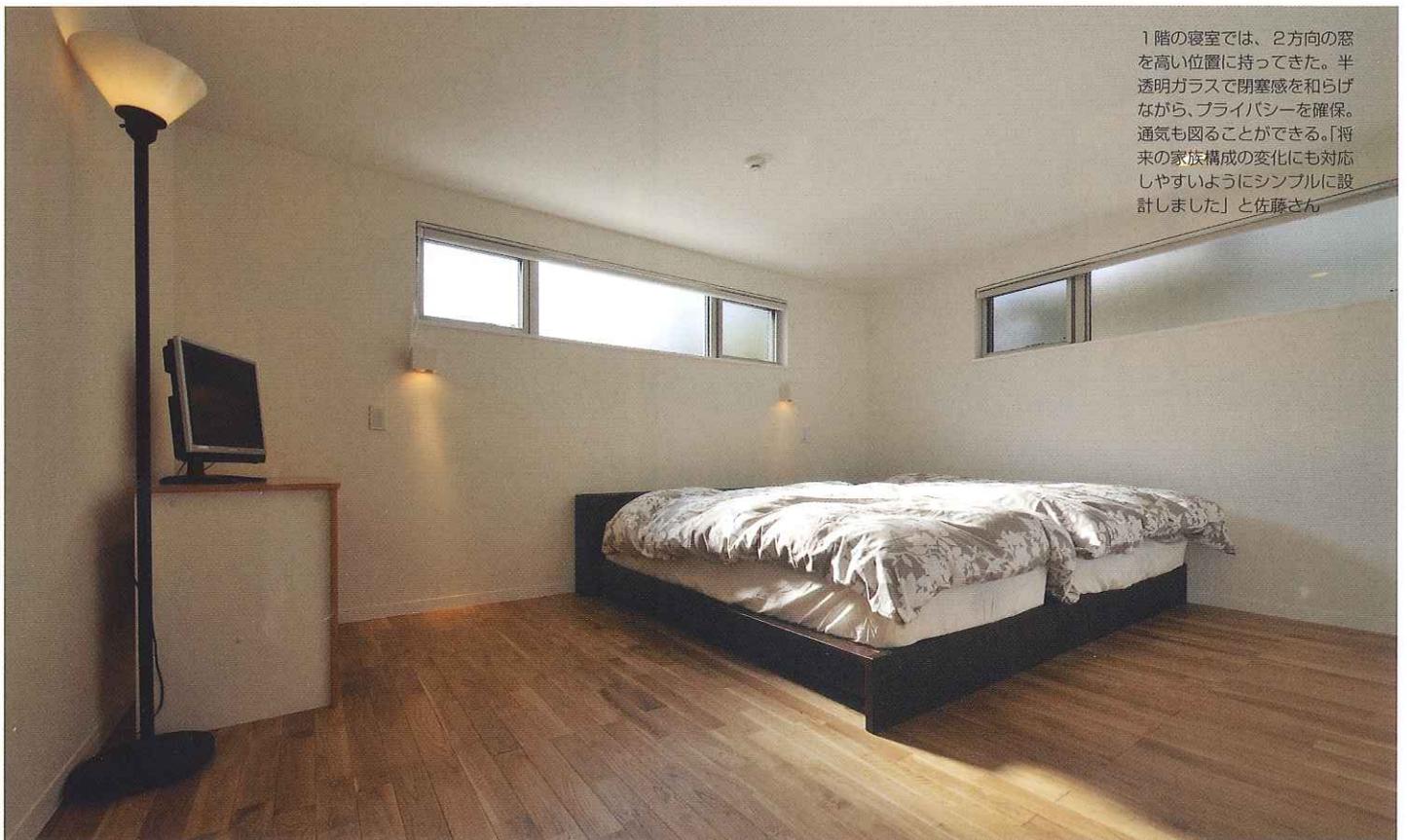
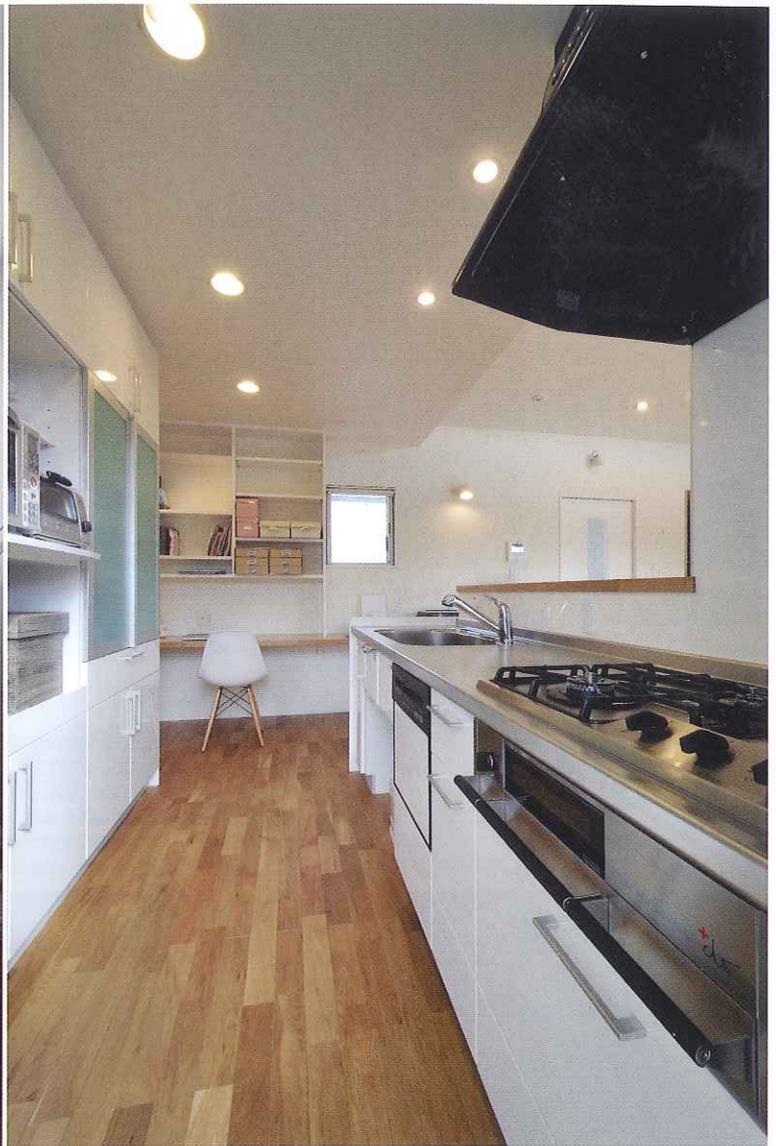
心地よい団らんの場であり、家事や作業のスペースでもある。LDKは家族の生活の中心に

バルコニーに続くサッシの上には高窓も設置。軒の出で真夏の直射を防ぎつつ、冬場の日差しを取り込む設計に。白いエコクロス製の壁と無垢材の床が陽光をやさしく受け止める。AV機器は造作収納にすっきり収めた





(右)キッチンにはINAXの「イスト」。食器、台所家電などが美しく収納された。「キッチンの横のデスクが便利。レシピなどもここで確認できます」と妻は喜ぶ (左)洗濯機は2階の洗面室に置いた。主要な家事動線は2階にまとめ、階段の昇降を最小限に抑えた



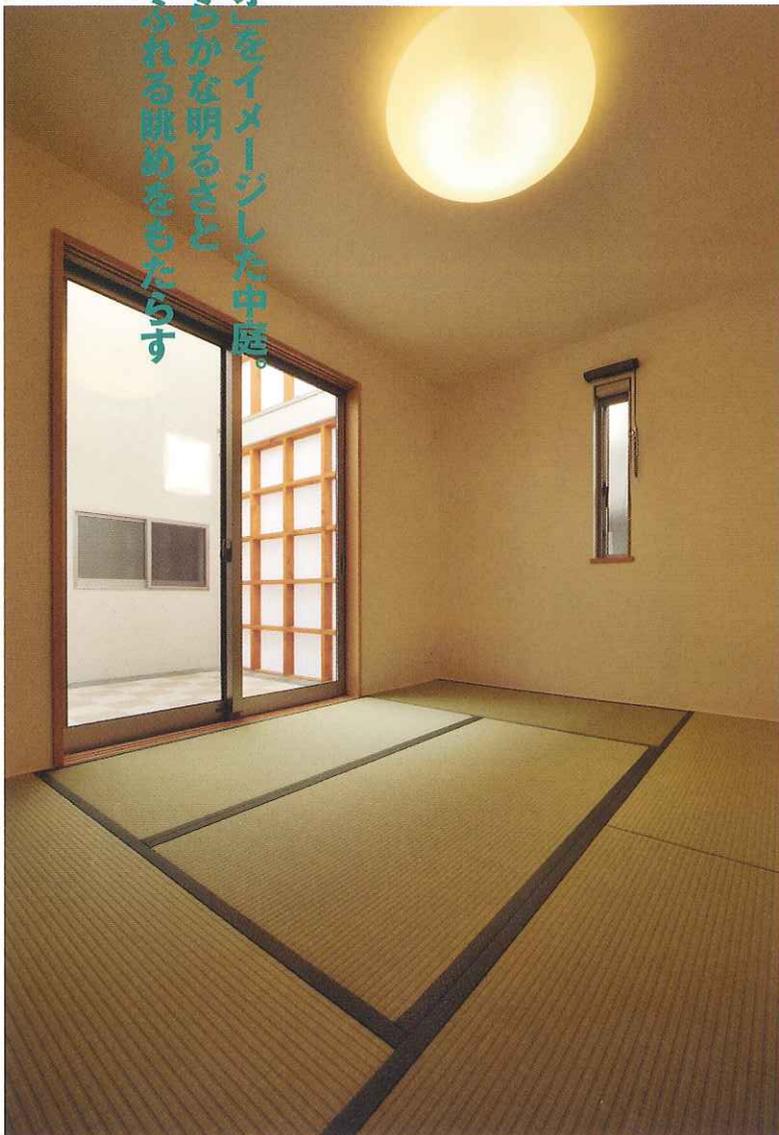
1階の寝室では、2方向の窓を高い位置に持ってきた。半透明ガラスで閉塞感を和らげながら、プライバシーを確保。通気も図ることができる。「将来の家族構成の変化にも対応しやすいようにシンプルに設計しました」と佐藤さん



(右)浴室はTOTOのバスピアKA。居室とマッチしたシンプルモダンなタイプだ。窓からは中庭を眺めることも可能 (左)1階の洗面室は、洗面台と棚をオリジナルの設計でスッキリ造作した

「パティオ」をイメージした中庭。室内に柔らかな明るさと開放感あふれる眺めをもたらす

1階には和室も用意された。客用の寝室などに利用されている。中庭には、半透明のポリカーボネート板を通して柔らかく拡散された光が広がる。ふと足を踏み出したくなる、アウトドアリビングとしての魅力が満ちた空間が、各室に豊かな開放感をもたらしている



(上)2階の通路は中庭に面し、外の光を室内にたっぷりと取り込んでいる。LDKからの風の通り道でもある(下)建物中央に大きく設けられた中庭。スペインの住宅にあるパティオをイメージしたデザインに、「ここでお茶を楽しんでみたい」と夫



●工務店からひとこと

当社では、お客さまの要望と暮らし方のスタイルを納得いくまでじっくりとお聞きします。

そのうえで、予算の範囲、街並みとの相性、素材や構造の組み合わせなど各面でバランスを取ったご提案をするのが私たちの家づくりのスタイルです。図面だけではお伝えしづらいケースでは、模型やパースなども多用して、プランの立体的な奥行きも含めて理解していただくようにしています。

これまで自社物件以外に、設計事務所からの発注も数多く受けていることも当社の特徴のひとつです。社内には幅広い設計ノウハウが蓄積されており、建材や設備、構造を選択する際に

は何の制約もありません。外断熱、金物工法、土間床暖房、自然素材、最新の建築技術など、よりよいプランニングのために最善の手法を取り入れていきます。

例えば、三角形の敷地、住宅密集地、傾斜地、多世帯住宅などテーマのあるご相談は特に得意とするところ。ご相談にあたっては、さまざまな難問、注文を提示していただき。地元で生きる工務店の役割として長期のメンテナンス面にも配慮しつつ、お客さまのためのプランを導き出すのが私たちの役割であると考えています。

（顔写真と文／設計担当・佐藤治正）

南側では、ガルバリウム鋼板の片流れ屋根とサイディングを横張りした外観が、軽快な印象を生み出している

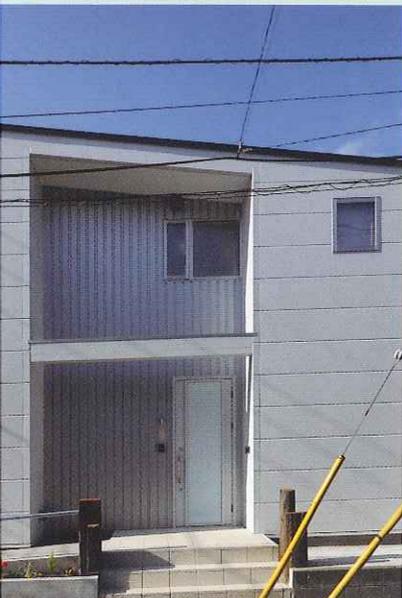
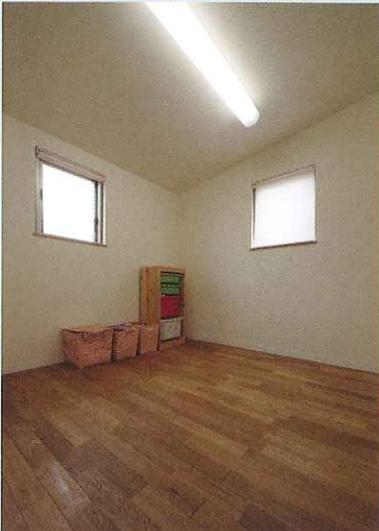


社名／宝建設
代表者／佐藤健治
住所／〒213-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎150
☎044-877-3861
<http://www.takara-kensetsu.com/>

年間建築棟数／新築6棟
社員数／8名
平均坪単価／70万円
主な工法／木造軸組工法
建築地域／東京・神奈川
建設立日／1970年
定休日／日曜日



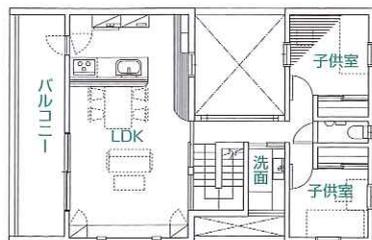
（上）玄関に足を踏み入れると、ホールを通じて中庭の景色が迎えてくれる。一見、閉鎖的な印象のある外観とは一転したオープンな空間に、訪れる人は誰もが驚くという（下）2階の東側には2つの子供室が配置された。机とベッドが置けるだけのコンパクトなスペースだが、クローゼットなどの収納スペースも造り付けられている



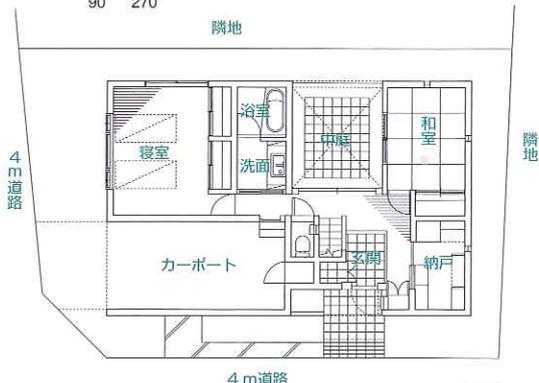
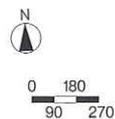
敷地面積／158.42㎡(48.01坪)
床面積／136.89㎡(41.48坪)
1階／75.33㎡(22.83坪)
2階／61.56㎡(18.65坪)
用途地域／第1種低層住居専用地域
建ぺい率／60%
容積率／100%
構造／木造軸組工法
竣工／2007年11月

D A T A

敷地面積／158.42㎡(48.01坪)
床面積／136.89㎡(41.48坪)
1階／75.33㎡(22.83坪)
2階／61.56㎡(18.65坪)
用途地域／第1種低層住居専用地域
建ぺい率／60%
容積率／100%
構造／木造軸組工法
竣工／2007年11月



2F



1F